

研

修

生

募

集

いちご

佐

野

市

新

規

就

農

塾

令和5年度 いちご新規就農募集案内

募集人数

:若干名

受付期間

:令和4年12月30日(金)まで

応募資格

:18歳以上63歳未満までの方
性別、農業経験の有無は不問
「いちご」栽培での就農意欲のある方
研修終了後、佐野市内での就農、
居住が可能な方

研修期間

:令和5年4月から令和6年3月まで

研修内容

:現役のいちご生産者のもとで研修

応募方法

:佐野市HP等からの申込書を提出

就農時の
支援

:農地の借入斡旋やハウスの整備に
関する支援、就農後の技術支援など

応募先
問合せ

JA佐野 営農企画課 担当:飯島
〒327-0825 佐野市飯田町331
TEL:0283-24-3420

就農希望者が就農をイメージできるよう、
いちご作業体験の機会も用意します

佐野市新規就農塾研修受入先

佐野市内の主な研修受入先をご紹介します。農業の基本やいちご栽培の基礎、出荷調製方法など教えます。



和田 秀敏 氏
いちご栽培歴51年 労働力11人
栽培面積 100a(土耕、養液栽培)
栃木県名誉農業士

いちごは、高収益が望める作物ですが、労働時間も多くなかかります。作業を遅れることなく、計画的に実施することが大切で、休みも取れるように、大きな面積ほど雇用の活用が必要となりますよ。



小林 秀男 氏
いちご栽培歴41年 労働力9人
栽培面積 90a(土耕、養液栽培)
栃木県農業士 JA佐野いちご部会長

いちごは、価格が比較的安定しているので、努力すれば努力しただけ結果もでます。JA佐野いちご部会は、若者も多く、栽培研究会など困ったときの横のつながりもありますので、安心して取り組みます。新たな仲間入りを待っていますよ。



篠崎 信一 氏
いちご栽培歴46年 労働力6人
栽培面積 20a(土耕栽培)
JA佐野いちご部会員

いちごは、小さい面積で大きな収入が得られるとても“ヤリガイ”のある作物です。生産者同士の交流も盛んです。チャレンジ精神のある方、一緒に実践してみませんか！



矢澤 信幸 氏
いちご栽培歴22年 労働力7人
栽培面積 46a(土耕栽培)
栃木県農業士 JA佐野いちご部会副部会長

私自身、Uターン就農で、農業経験が少なくても、周囲の協力で技術を積み重ねてきました。自分のやる気と努力があれば、やりがいを持ってできます。1日でも1年でも早くスタートできるよう“トライ”してください。



関根 哲也 氏
いちご栽培歴11年 労働力4人
栽培面積 20a(土耕栽培)
JA佐野いちご栽培研究会員

Uターン就農でいちご栽培を始めて、10年となります。自己流でも、いろいろ研究して努力していけば十分成果の出せる仕事です。形にとらわれず、自分の好きなように試せるのが農業の魅力ですね。

様式 1

研 修 申 込 書

令和 年 月 日

佐野市園芸振興協議会長 様

氏 名	ふりがな		男・女	写真
			印	
生年月日	昭和 平成	年 月 日生	満 才	
現住所	〒			
連絡先	電話 携帯			

最終学歴			
最終学校名	学科名	就業期間	卒業・中退

職 歴			
勤務先名	業種	就業年月日	離・転業年月日

家 族 構 成					
氏 名	年 齢	続 柄	氏 名	年 齢	続 柄

就農時に投資できる資金	万円
-------------	----

研修希望内容

作 目			
研修希望地	1	2	3

農業に係わる研修・経験実績について（過去の農業関係の研修・経験の有無・内容）

研修後の就農意思（該当数字を で囲む）	
1	研修終了後、直ぐ就農（独立）したい。
2	研修終了後、条件を整えてから就農（独立）したい。
3	その他（ ）

就農時における目標

営農部門	就農希望地			
就農・経営形態				
経営規模	就農時	a	就農5年目	a
作 目 (面積 a)	就農時		就農5年目	
所得目標	就農時	万円/年	就農5年目	万円/年
農業従事者	氏 名	年齢	続柄	年間従事日数
				日
				日
				日

添付書類

就農動機及び目指す農業経営に係る作文 A4、1,600字以内（様式任意）

この申込関係書類は、「佐野市新規就農塾」の書類審査等に使用するものであり、個人情報保護の観点から取り扱いには十分留意し、原則として公開しません。